

2013 WINTER ゆうゆう自適

やましん健康・医療セミナー
まだまだ現役
47CLUB
INFORMATION

山形の50歳からの暮らしを楽しむ。

当誌は無料配布のフリーマガジンです



この記事は、左記フリーマガジンに掲載されたものです。

「〜脚がしびれて、歩くのがつら〜」 増加する腰部脊柱管狭窄症について

講師／公立学校共済組合東北中央病院 病院長 田中靖久氏



脚がしびれたり歩くのがつらいといった症状を感じたら、腰部脊柱管狭窄症の可能性が高いといえます。腰の真ん中に触れる棘(きょく)突起の奥の

方にある背柱管の中で馬尾と神経根という2種類の神経のどちらかが圧迫されています。馬尾の方が圧迫されていると手術をする必要があり、神経根ではまず保存療法で対処することになります。歩くと両脚がつかくなって休まざるを得ない、休むと歩けるがまた歩けなくなるといった間欠性跛行(はこう)や、足の底に異物感があれば、馬尾が圧迫されています。会陰部のしびれや排尿障害が生じることもあります。現在は、腰部脊柱管狭窄症で手術を受ける方の2人に1人以上が70歳を超えています。それほど高齢者に多い疾患です。手術は手数少ない開窓術が最も多く行われています。この手術は安全性に優れていて、間欠性跛行や排尿障害などの改善が得られます。腰痛や脚の痛み、しびれで歩くのがつらければ、腰部脊柱管狭窄症を考え、整形外科の専門医を受診してください。